

耐震補強

▶ 高架橋および駅の耐震補強

地震に対する安全性を向上させるため、耐震補強を進めています。



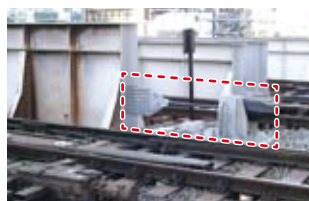
高架橋耐震補強



駅耐震補強

▶ 落橋対策

大規模地震時に橋桁が橋台から落下するのを防ぐため、落橋防止装置を設置しています。



落橋対策

地下駅の火災対策

火災時の被害拡大を防止するため、防火防煙シャッターをはじめとした火災対策設備を設置しています。



防火防煙シャッター

平成28年度 安全重点施策

火災・自然災害対策

高架橋や天満橋駅などの耐震補強工事を進めます。また、誘導灯、非常照明、風速計などの更新を実施します。

その他の取り組み

鋼索線（男山ケーブル）の安全対策

鋼索線は鋼索（ワイヤロープ）に繋がれた車両（ケーブルカー）を巻上装置で巻き上げて運転する仕組みになっています。そのため、運転士は山上側にある運転室で巻上装置の操作を行い、車掌はケーブルカーの車内に乗務し、運行中の前方確認や扉操作を行います。このように運転士が車内にいないことや急勾配で運転するため、特にブレーキ装置やワイヤロープの点検・整備には細心の注意を払い運転保安の確保に努めています。

また、平成27年11月に駅の乗車側ホームに固定式ホーム柵を設置しました。



鋼索線の点検・整備



鋼索線ホーム柵

▶ 鋼索線事故想定訓練

不測の事故・トラブルに備え、お客さまの避難誘導をはじめとする訓練を定期的実施しています。平成27年度は12月に八幡市駅で実施しました。



鋼索線での訓練



ひらかたパークの安全対策

当社が運営する「ひらかたパーク」では、鉄道技術部門が安全性を確認し、一部の遊戯機のメンテナンスを寝屋川車両基地で行っています。鉄道会社直営の強みを活かし、ひらかたパークと鉄道技術部門が協力し、高い技術レベルで遊戯機の安全を支えています。



ジェットコースターの分解整備